

今号の「SPFのひと」(8P参照)でご紹介した熊本県の認定農場・やまとんファームの直売所が「ton ton」(トントン)。もともと自宅でご近所を中心に自農場産豚肉を販売していましたが、「お客さんが立ち寄りやすい、ゆっくりお茶でも飲みながらお肉が買える憩いの場を」と自宅前の元JAのガソリンスタンドだった土地を利用して建てられ、昨年12月にオープンしたばかりです。大和家の夢と要望があちこちにちりばめられた、こだわりの木造建築です。

中に入ると天井は吹き抜け、梁も柱もそれは見事なものでカウンターやテーブルも一枚板。入口にはスロープも設置されています。中でも一番のこだわりは中からも出入りできるオープンウッドデッキ。夏にはここでバーベキューなどのイベントも行なったそうです。カットや加工施設も完備され、お店のあちこちには豚グッズが溢れています。小さな写真しか掲載できないのが残念なほどです。

看板や案内板の文字や豚のイラストはすべて代表者である大和洋子さんが描いたもの。大学の専攻は応用微生物工学という「リケジョ」の洋子さん、高校時代から家を離れ熊本市で就職しましたが、農場



接客する洋子さん(左上)。お店のあちこちに豚グッズが目押しバーベキューもできるオープンデッキ(右下)

を継ぐべく阿蘇に戻りました。食品関係にも関心が強く、店をほぼ1人で切り盛りしています。

洋子さん手作りのチラシも配ったオープンの際には店の前が車で渋滞、ご近所の人々が驚いたそうです。

今は精肉のみの販売ですが、「1周年の頃には加工品もぜひ」と洋子さん。長居がしたくなる、とても居心地のよい「SPFのお店」でした。